

個人山行

苗場山・仙ノ倉山

2017年8月1～3日（火～木） 岡本（単独）

当初7月最終ウィークエンドに会のメンバーと行く予定が雨で流れ単独行となる。苗場山は豪雪で有名な津南町の秋山郷、小赤沢コースから登る。三合目の駐車場の奥まったところが登山口で、そこからジメジメした感じの道が続く。そこから延々と樹林帯の中のドロドロ道が続き、最後の鎖のある急な岩場を登り切ると、急に展望が開けそこが「坪場」だ。ミニ尾瀬のような木道のある湿地帯を抜けると大きな小屋があり、その先が山頂だ。どうやら、スキー場の登山リフトに乗り、尾根コースで山頂に来るのが正解のようである。



坪場から続く木道



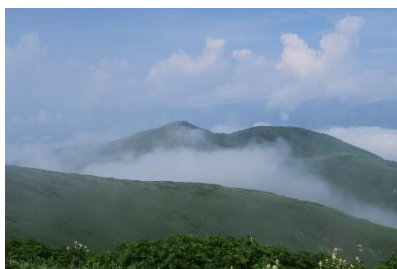
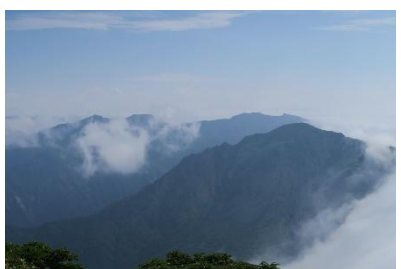
こんな感じの湿地帯



山頂証拠写真

下山後越後湯沢まで行き、そこで泊まる。翌早朝、苗場プリンスホテルの少し手前にある登山口の駐車場まで行く。流石に観光地で、ウォッシュャー付きの綺麗なトイレもある。

翌朝、三国峠手前の登山口まで行く。そこから松手山まで、標高差約660mの樹林帯の中のきつい登りが続く。そこから暫くなだらかな道が続き、やがて平評山とその稜線が綺麗に見える。高山植物も増え、稜線への急な斜面に掛かると周囲全体がお花畑のようになる。登り切ると気持ちの良い、展望の良く利く緩やかな稜線となる。平評山から仙ノ倉山までも、少し階段はあるものの、展望の良い気持ちの良い道が続く。仙ノ倉山頂は360度の大展望が満喫でき、谷川岳方面も綺麗に見える。平評山・仙ノ倉山、中々良い山でした。



写真上段、漸く見えた平評山、お花畑、お花畑の中の登山道。下段、仙ノ倉山から谷川岳方面、仙ノ倉山から平評山、平評山～仙ノ倉山の登山道